

平成28年（2016年）2月12日

二俣川駅係員による遺失物の着服について（お詫び）

相模鉄道株式会社

相模鉄道株式会社（本社・横浜市西区、社長・小澤重男）では、二俣川駅の係員がお客様の遺失物を着服していた事実が判明いたしました。このような行為はお客様の信頼を著しく損なうものであり、深くお詫び申し上げますとともに、再発防止に努めてまいります。

詳細は、下記のとおりです。

記

1. 概要 平成28年（2016年）2月8日（月）、二俣川駅お忘れ物センターにおいてお客様へ遺失物をお返ししたにも関わらず、返還済みを示した帳票が見当たらない取り扱いがありました。調査の結果、2月10日（水）、同駅係員がお忘れ物検索システムで不正な返還処理（お忘れ物検索システムへ架空のお客様にお返ししたとして登録後に帳票を廃棄）をして入手したICカードを払い戻し処理をして現金化し、着服したことが判明しました。
2. 当該社員 二俣川駅係員（男性、51歳）
3. 着服物 および金額 無記名PASMO1枚（現時点判明分 現金1,752円）
※その他にも着服を認めており、詳細については現在調査中です。
4. 処分 社内規則に則り、厳正な処分を行います。
5. 再発防止策 (1) 拾得物の取扱いおよび遺失物管理体制を再確認し、取り扱いの厳正を徹底いたします。
(2) 全社員に対して、緊急のコンプライアンス教育を実施いたします。

以上